

評価シート（年度評価）

中村公園の管理運営状況

1 基本情報

<所管局：緑政土木局>

指定管理者名	岩間造園株式会社		
主な業務内容	中村公園の管理運営業務		
施設の所在地	名古屋市市中村区中村町高畑68		
評価対象期間	令和2年4月～令和3年3月	指定管理期間	令和2年4月～令和6年3月

2 評価結果

評価項目			評価区分	特記事項
管理体制及び協働	1 管理体制	職員配置	◎	本部職員等による現場確認を通して、現地スタッフでは気づきにくい箇所の指摘・改善を行った。 公園特有のイベントのみならず、歴史、文化、健康など地域や他施設と連携し、まちの賑わいを創出した。
		緊急時の体制		
		人材育成等		
維持・管理運営等	2 協働	市民等との協働	◎	公園灯修繕の際にLED化したり、処分予定の工事の発生材を施設修繕に転用したり、市の発注工事とタイミングを合わせた修繕を行うなど、経済的・効率的な修繕となるよう工夫を行った。 計画的な樹木剪定や枝の整理など景観を意識した植物管理を実施した。 大径木の切り下げを実施し落枝対策や視認性向上に努めた。 衰弱木について、樹木医の診断等によりこまめな確認を行い、市へ適切に報告するとともに伐採を行った。 園路の段差修繕や、飛び出し防止の植栽の補植、車両損傷の恐れのある不用基礎の撤去など安全管理に努めた。
		園内清掃		
		建物・設備の管理		
		保守・点検・修繕		
		植物管理		
		管理水準の維持		
		関係書類の調製・保管		
	2 運営管理	利用者アンケートの実施	○	講習会や催事において機会を逃さずアンケート収集に努めた。 放置物件について、関係各所と情報共有しながら適切に対応した。
		利用者ニーズの把握と反映		
		利用者サービス向上策		
		接客・接客向上の取組		
		苦情・要望に対する適切な処理		
	3 この施設特有の管理	記念館の活用及び施設特有の植物管理	○	催事での記念館PR、茶庭の開放、桐蔭茶席での演奏会など施設の活用に努めている。 庭園平面図を作成・配布した。
		めざす公園像への取組み		
		魅力増進・利用促進		
	4 魅力増進・利用促進	イベント等の実施	○	
		利用者への広報・情報提供の実施		
	5 収納金の処理業務	現金等の取扱い	◎	還付事務が増大したが、適切に現金の管理、書類の作成等が行われた。
		関係書類の調製・保管		
自主事業	1 自主事業	事業計画に基づく自主事業の実施	○	新型コロナウイルス対策を行いながら催事や講習会に取り組み、公園の魅力向上に貢献した。
		集客対策への効果		
		自主事業の収支及び還元		
		便益施設の管理運営		
収支	1 収支	経費節減策	○	
		年間収支		
その他	1 その他	法令・協定の遵守	○	
		事業計画との比較分析		

【総合評価】

いかに来場してもらうかという視点で、様々な感染症対策を行い、コロナ禍の市民の活力につながる運営をしている点や、課題を的確に把握し、今後の見通しを持って管理運営している姿勢が評価できる。
安全性と見通しの確保を目的とした高木の切り下げや下枝せん定などを実施したり、中止に至った催事の費用を植物管理の長期計画を前倒して実施する費用に充てたりするなど植物管理に注力した。
施設管理においては、老朽化しつつある歴史的な価値のある建造物類の維持補修に力を注ぎ、利用の促進を図った。記念館については、登録有形文化財の特性を生かしながらさらなる利用促進を図られたい。
若者の需要取り込みについては、大学生による音楽、茶華道の公園利用及び若者のインフルエンサーとしての兆しも見られたようであるので、引き続き尽力されたい。

施設の現状

中村公園

施設の現状	施設概要							
	中村公園は、明治16年に地元有志が時の愛知県令国貞廉平に申し入れ、「豊公遺跡保存会」を設立し、豊臣秀吉を祀る豊国神社を創建したことから始まります。明治33年には「中村旧跡保存会」が設立され、豊臣秀吉誕生の遺跡を中心に土地を買い入れ、豊国神社の境内と併せて管理されました。明治34年に愛知県の所管となり、「中村公園」が設置され、大正10年に中村が名古屋市西区に編入されたのに伴い、名古屋市に移管されました。 昭和10年より拡張、近代都市公園としての充実が図られ、昭和63年作成の「中村公園再整備計画」に基づいて、豊臣秀吉誕生地にふさわしい公園として全面的に再整備されました。また、園内に、秀吉・清正記念館、中村文化小劇場、中村図書館や茶席等が建設され、区内の文化拠点となっています。 現在は、本園・東園・西園に分かれ、ひょうたん池を中心として西は太閤池があり、四季折々の風景を楽しむことができます。秀吉誕生の地といわれる竹林や碑、大正天皇お手植えの松など歴史的遺跡が数多く残り、周辺の史跡と一体となって、名古屋市の重要な歴史文化ゾーンにもなっています。							
	市の収支状況(千円)（2年度決算(見込)額）							
	支出			収入				
	指定管理料	その他	計	使用料	その他特定財源	一般財源	計	利用料金
	53,000	-	53,000	1,021	-	51,979	53,000	—
	特記事項							
	平成28年度から指定管理者制度導入							
	取組状況							
	指標			単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
管理運営指標の状況	入園者数			人	316,855	307,262	297,910	277,294
	特記事項							

※支出のうち「その他」欄は、経常修繕費等を記載